

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

支援センターだより

2016年7月 第20号



被害者支援の発展を願い

新潟県警察本部警務部警務課長 山本 純市

警察が総合的な犯罪被害者支援を行うため、平成8年に「被害者対策要綱」を制定してから、今年で20年が経とうとしています。この間、平成16年には「犯罪被害者等基本法」が成立し、この基本法に基づき、これまで、「犯罪被害者等基本計画」及び「第二次犯罪被害者等基本計画」が策定され、警察としても被害者のニーズに応えた支援を推進してきたところであります。この度、平成28年度から平成32年度を計画期間とする「第三次犯罪被害者等基本計画」が策定され、より質の高い支援活動を展開するための施策が示されました。

第三次基本計画には、これまでと同様に、「尊厳にふさわしい処遇を権利として保障すること」、「個々の事情に応じて適切に行われること」、「途切れることなく行われること」、「国民の総意を形成しながら展開されること」の四つの基本方針が掲げられております。

犯罪被害者は、事件の被害に遭うことで、予期せぬ様々な困難に直面します。たとえば緊急の入院、突然の葬儀、生活費の工面、警察や裁判への対応など普段であっても対応の厳しい課題が次々と押し寄せてきます。警察としても、このように個々の対応能力を超える場面に窮する被害者に対し、今ほどの四つの基本方針を基に、被害者の精神的、経済的負担を軽減し、更には、関係機関、団体等と連携し、より一層手厚い支援を展開していく所存であります。

しかし、犯罪被害者支援が多様化する中、どうしても警察だけの支援では限界が生じてしまいます。そこで、県内唯一の民間被害者支援団体である、「にいがた被害者支援センター」との連携は不可欠なものとなってきます。支援センターは平成23年3月に、新潟県公安委員会から、「犯罪被害者等早期援助団体」として指定を受け、信頼度の高い民間被害者支援団体となり、支援業務においても大きな役割を担っていただいております。

また、支援センターは、本年12月に、県からの委託事業として、性暴力・性犯罪被害者に対する「ワンストップ支援センター（仮称）」の立ち上げを予定しており、現在準備を進めております。これは、にいがた被害者支援センターが行ってきた従来の支援の形に加え、性暴力被害に特化した専用ダイヤルを設け、性暴力被害者からの相談を受理し、関係機関につなげること、または、警察に届け出を望まない被害者に対しても、医療費等の経済的支援をするなど、被害者の置かれた現状や心情に寄り添いながらサポートする支援体制を目指すものであります。

警察としても、ワンストップ支援センターの成果を挙げるためにも、これまで以上に「にいがた被害者支援センター」との連携を強化し、犯罪被害者支援の更なる発展に努めて参りたいと思います。

研修を積んだ相談員が対応します。

相談電話

新潟地区 ☎ 025-281-7870

中越地区 ☎ 0258-32-7016

上越地区 ☎ 025-522-3133

- 相談日 月～金
(祝日・年末年始は除く)
- 相談時間10時～16時

面接相談
予約が必要

直接支援

秘密厳守・相談支援無料

性暴力・性犯罪被害者ワンストップ支援センター（仮称） が平成28年12月中に開設されます

当センターでは、平成28年4月1日に、新潟県から性暴力・性犯罪被害者ワンストップ支援センター（仮称（以下「ワンストップ支援センター」という。）の運営業務の委託を受けました。

内閣府の調査によれば性暴力被害者の67.5%が、どこにも、誰にも相談していません。（平成27年版内閣府男女共同参画白書）

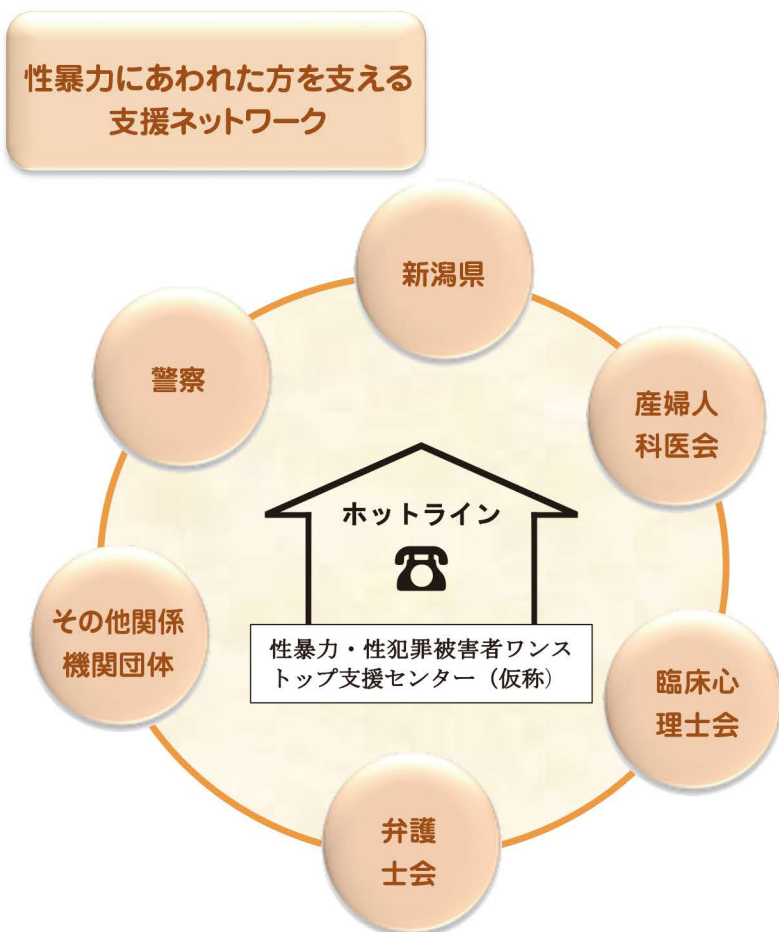
性暴力被害者は、被害直後、医療機関、捜査機関、相談機関等に自ら足を運び、その都度、自身が体験した被害について話さなければならず、時には二次被害を受けることもあるなど深刻な被害が生じます。被害者が子供であれば、その後の成長に及ぼす影響は計り知れません。

被害直後から、被害者の安全を確保し、寄り沿いながら被害者のために医療的、精神的、法的、経済的に総合的支援を可能な限りワンストップで行う、いわゆる「ワンストップ支援センター」を開設するものです。

ワンストップ支援センターの形態と役割

このワンストップ支援センターは、にいがた被害者支援センターを中心として、新潟県をはじめ県警察本部、県産婦人科医会、県弁護士会、新潟県臨床心理士会等関係機関団体が連携し、被害直後から中長期にわたって、被害者の心身の負担を軽減し、その健康を回復するための総合的な支援を行います。

ワンストップ支援センターでは**ホットライン（専用電話）**を設置し、研修を積んだ相談員が対応します。



性暴力被害について Q&A

性暴力とはなんですか？

望まない性的発言や行為、女性の性的売買は全て性暴力です。同意のない、対等でない、強制的であり、搾取的で、一方的な性的行為を指し、暴力を用いて人間としての尊厳を侵害する犯罪行為です。性暴力は幅広い行為を含みます。例えば、レイプ、性虐待、DV、ストーカー、セクハラ、痴漢、盗撮、露出、のぞき、ポルノ、性的ないじめ、裸の写真を脅しに使ったり、インターネットなどの公衆の場にさらすこと、直接的な脅迫だけでなく立場を利用した売買春、援助交際、ポルノビデオに出演させるなど、これらはすべて性暴力です。

また夫婦や恋人であっても、見たくないのにポルノを見せたり、嫌がっているのに性行為を強要したり、避妊に協力しない、中絶を強制されるなども性暴力です。

「望まない」というのは、嫌だと断れない、逃げられない、応じざるを得ないといった状況も指します。人間は誰も性的自己決定権をもっています。

その自己決定権を発揮できなかった時に性暴力は起きています。

子どもでも、男性でも、女性でも、セクシャルマイノリティでも、年齢も性別も関係なく、性暴力は起きています。

●性暴力・性被害者ワンストップ支援センター支援活動員採用時養成講座開設中

ワンストップ支援センター開設に向け、7月1日から性暴力被害者支援活動員養成研修を行っています。各講座にはワンストップ支援に造詣のある講師を招き、性暴力被害者の心身の負担軽減、健康回復等被害回復のための質の高い支援に向けて支援活動員希望者40数名が受講中です。

平成28年度性暴力・性犯罪被害者ワンストップ支援センター支援活動員採用時養成講座予定表
公益社団法人 いいがた被害者支援センター

番号	月日	研修内容	講師等	会場
1	7月1日 (金)	60分 受付	理事長、専務理事	新潟ユニゾンプラザ 中研修室
		60分 開講式、オリエンテーション、センターの概要～沿革、事業内容	支援局長、事務局	
		60分 警察の被害者支援(警察の被害者支援の概要等)	県警支援室	
2	7月7日 (木)	60分 被害者の抱える状況 二次被害等	支援局	新潟ユニゾンプラザ 小研修室2
		60分 ワンストップ支援センターの概要、行政の役割と連携	県民生活課	
		60分 警察の被害者支援(性犯罪捜査等)	県警捜査第一課	
3	7月15日 (金)	90分 警察の被害者支援(子どもと女性の安全対策について)	子供女性安全対策課	新潟ユニゾンプラザ 小研修室2
		90分 性暴力被害者の心理(トラウマ、心理教育等)	県外講師(臨床心理士)	
4	7月22日 (金)	90分 電話相談の基本	臨床心理士	新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
		90分 DV等の被害者支援	民間支援団体	
5	7月29日 (金)	120分 子どもの性被害・性虐待	児童相談所	新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
		60分 弁護士の被害者支援と連携(刑事手続きの流れと被害者の関わり)	弁護士	
6	8月5日 (金)	180分 検察庁の被害者支援	検察庁	新潟ユニゾンプラザ ハート館研修室
7	8月18日 (木)	90分 実施研修(電話相談)	臨床心理士	新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
		90分 産婦人科における性被害者の診療	産婦人科医	
8	8月26日 (金)	90分 被害者支援における精神科医の役割	精神科医	新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
		120分 電話相談の実際(ロールプレイ等)	支援局	
9	9月2日 (金)	60分 面接相談の実際	支援局	新潟ユニゾンプラザ 小研修室2
		120分 先進センターに学ぶ	県外講師	
10	9月9日 (金)	90分 被害者の声	性被害者	新潟ユニゾンプラザ 小研修室2
		60分 組織のあり方、倫理、個人情報等	専務理事	
		30分 研修振り返り	支援局	
		閉講式	理事長、専務理事	

注：講座時間は、午後1時30分から午後4時30分までの3時間です。注：講習内容及び講師は、諸般の事情により変更することがあります。注：7月7日、8月18日の講習日は木曜日です。

●新潟県産婦人科医会と協定

被害後間もない性暴力被害者にとって、産婦人科医療が果たす役割は非常に大きいことからより被害者に寄り添った支援のために、新潟県産婦人科医会と平成28年3月24日に「性暴力・性犯罪被害者への支援に関する協定」を締結いたしました。

これまでセンターから医療機関を直接紹介出来ませんでしたが、これからは県産婦人科医会の指定する約70の医療機関から被害者の希望に沿った医療機関を紹介出来ることになりました

28年4月に新潟県より業務委託を受け、同年12月に“性暴力・性被害者支援ワンストップセンター”(仮称)を開設することとしており、被害者の心身の負担の軽減・早期自立に向けた環境整備が整い、被害者に寄り沿ったより良い支援が可能となります。



昨日友人がレイプ
されました。私に
出来ることはどん
なことでしょうか？

強姦などの被害にあったときは、まずご本人の安全を確保してから、72時間以内に産婦人科受診をすすめましょう。傷の手当てをし、妊娠、性感染症の可能性からご本人の身体と心を守るため、72時間以内の適切な対処が必要です。

もし告訴することも想定して、証拠の確保も早めの対処が必要になります。後で証拠を使わないという選択もできるので、まずは保存しておくことをお勧めします。

ご本人はたくさん不安を抱えておられるかと思います。できれば可能な限り、付き添ってあげてください。

いいがた被害者支援センターでも、付き添い支援を行っております。

またご本人以外からのご相談も可能ですので、まずはお電話ください。

自分を責めてしまいます

原因はあなたにありません。
被害の責任は相手にあります。
そして社会には残念ながら、性暴力に対して無知な人も、無理解な人もいます。ですがそれもその人たちの問題であり、偏見であつたりします。
あなたはなにも悪くない…。
どうかご自分を責めないでください。
私たちにお手伝いできることがあるかもしれません。

周囲の人(家族や友人等)はどう接したらいいのでしょうか？

大切な方が性暴力被害にあったことを知って、混乱されていると思います。まずは落ち着いて冷静になりましょう。
決して本人を責めずに、「話してくれてありがとう。」と伝えてあげてください。
そして「あなたにはなんの落ち度もない。」ということを繰り返し伝えて、気持ちを聞いてください。無理に話をさせることはさげましょう。
性暴力被害にあった方が回復するには少し時間がかかるかもしれません。
ご本人の意思を尊重して、見守ってあげてください。

平成27年度支援活動実績表

平成28年3月31日現在

区分	殺人・ 傷害致死	強盗・ 強姦・ 強姦致死	性 犯罪	暴行・ 傷害	交通事 故	DV・ ストーカー	虐 待	そ の 他	計	備 考	
電話相談	35	15	49	20	137	11	1	104	372		
面接相談	4	0	3	5	8	1	0	4	25		
直接 支援	裁判傍聴付添	4		21		6		3	2	36	裁判傍聴付添、代理傍聴等
	警察署付添等								0		
	検察庁付添等		1						1		
	弁護士相談付添	8	2	12	2	14	2		5	45	
	行政等関連機関			1		1			2	2	保護観察所・刑務所付添 行政窓口連絡調整等
	病院・臨床心理士			12	2	2			16	16	病院付添、臨床心理士紹介等
	生活支援等					8			8	8	家事手伝い等
	自宅訪問	1	1	2		5			9	9	
	その他		2	4	1	14		1	22	22	被害者・遺族への情報提供等
計	13	6	52	5	50	2	4	7	139		
合計	52	21	104	30	195	14	5	115	536		

平成27年度より全国被害者支援ネットワークの集計方法でカウントしている。当センターの支援活動の36%が交通事故、20%が性被害で半数以上を占めている。

平成27年度支援活動報告

講演・広報啓発・研修等

●講演

- 5月 県産婦人科医師会研修、8月 国際ロータリー第2560地区、新潟万代ロータリークラブ、9月 警察学校被害者支援専科、10月 村上地区交通安全事業主会研修会、新潟市南地区被害者支援連絡協議会総会、11月 与板警察署被害者支援連絡協議会、小千谷、川口地区被害者支援ネットワーク、12月 長岡警察署被害者支援連絡協議会総会、28年2月 上越地区被害者支援連絡協議会、燕警察署被害者支援連絡協議会

●命の大切さを学ぶ教室

- 6月 守門中学校、神納中学校、7月 守門中学校父兄会、9月 佐渡中等教育学校、10月 長岡北中学校、2月 西蒲署

●イベント会場等の広報活動

- 4月 サッカーJリーグ公式戦、5月 沖デンタルフェア（2日間）、7月 県交通安全フェア、9月 糸魚川交通安全大会（クラシックレビュー）、10月 十日町地区交通安全大会、江南地区交通安全大会、胎内高齢者交通安全大会、新発田高齢者事故防止等推進大会、11月「犯罪被害者週間」協賛キャンペーン（新潟駅）、「犯罪被害者支援フォーラム2015 in にいがた」

●イオン幸せのイエローシートキャンペーン（5月、6月、9月、11月、12月）

●TENYテレビ伝言版出演

●県内市町村広報誌掲載広報（20市町村）

●JR車内ビジョン活用広報〔信越線、越後線、白新線15秒スポット（10月から3月）〕

●支援活動員育成講座

継続講座（年間12回）、直接支援講座（年間5回）

●全国被害者支援ネットワーク主催各種研修会

7月11日～12日	上半期関東甲信越ブロック研修会	6名	新潟市
10月1日～3日	全国フォーラム・秋期全国研修会	4名	東京都
12月7日～8日	自助グループ継続研修会	3名	東京都
1月25日～29日	直接的支援実施研修会	1名	東京都
1月25日～26日	全国コーディネーター前期研修会	1名	東京都
2月21日～22日	下半期関東甲信越ブロック研修会	2名	新潟市
2月23日～24日	性犯罪被害者支援体制研修会	1名	大阪府

●8月 県臨床心理士会との意見交換会

8名出席

●9月 県弁護士会との意見交換会

17名出席



総会報告 & 決算、顧問・役員名簿

総会報告

5月27日（金）午後5時30分から新潟会館において、平成28年度公益社団法人にいがた被害者支援センター定時社員総会を開催しました。

- ・第一号議案 平成27年度決算承認について
- ・第二号議案 役員を選任について

役員任期が満了することに伴い役員を選任を行いました。遠藤修司理事（前新潟県商工会議所連合会専務理事）及び澁谷志保子理事（元いのちの電話事務局長）の退任に伴い、早福弘氏（新潟県商工会議所連合会専務理事）及び本間サチ子氏（前いのちの電話事務局長）が就任しました。他の役員につきましては再任されました。

- ・報告事項 （1）平成27年度事業報告について
（2）平成28年度事業計画及び収支予算について
- 以上の議案及び報告事項は、全て承認されました。



平成27年度決算報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科目等	金額
受取会費	5,186,000
事業収益	1,692,000
受取民間助成金	3,789,332
受取寄付金	7,395,869
その他	102,077
経常収益 合計	18,165,278
事業費	
相談、直接支援、自助グループ支援活動費	7,001,046
広報啓発事業費	3,829,679
研修・育成事業	1,211,875
小計	12,042,600
管理費	
人件費	3,600,699
管理事務費	1,381,694
小計	4,982,393
経常費用 合計	17,024,993
一般正味財産期末残高	2,862,912
指定正味財産期末残高	11,864,805
正味財産期末残高	14,727,717

役員名簿

●顧問

新潟県知事 泉田 裕彦
新潟県警察本部長 山岸 直人
新潟市長 篠田 昭
新潟県市長会会長 森 民夫
新潟県町村会会長 渡邊 廣吉

●役員

理事長 川上 耕 弁護士、元法テラス新潟地方事務所所長
専務理事 稲餅 武雄 元新潟県暴力追放運動推進センター事務局長
理事 運上 司子 元新潟県臨床心理士会会長
理事 早福 弘 新潟県商工会議所連合会専務理事
理事 大島照美子 新潟県女性財団理事長
理事 櫻井 香子 弁護士、新潟県弁護士会犯罪被害者支援対策委員会委員長
理事 佐野 英孝 新潟県精神科病院協会副理事長
理事 本間サチ子 前社会福祉法人新潟いのちの電話事務局長
理事 橘 玲子 新潟青陵大学非常勤講師
理事 野口 祐郁 弁護士、新潟県弁護士会犯罪被害者支援対策委員会副委員長
理事 中曽根えり子 にいがた被害者支援センター支援局長
交通事故被害者遺族
理事 長塚 康弘 新潟大学名誉教授、新潟心理学会会長
理事 渡部 透 新潟県医師会会長
理事 井口 善雄 にいがた被害者支援センター事務局長
監事 金子 英明 税理士

交通事故被害者家族の思い

裁判の時に家族が読み上げた意見陳述書(要旨)

「意見陳述書」

70代男性

昨年(H.25年)11月4日の夕方5時過ぎに、妻が交通事故に遭った旨、警察から電話がありました。驚いて現場に駆けつけましたが、すでに救急車で搬送され、暫くして新潟大学医歯学総合病院に緊急入院したと知らされました。緊急手術が行われましたが、一時、命が助かるかどうか危ぶまれる状況だったと、後で執刀医から聞きました。

とにかく助かって欲しいということばかりで、あまり細かい事は覚えていません。加害者である〇〇も来た様ですが、詳しい事は思い出せません。

その後、主治医からは命は取り留めたが、車に撥ね飛ばされて路面に激しく叩きつけられた事によって脳が決定的に大きな損傷を受けており、意識が回復するかどうか、また将来自力で生活出来るかどうか全く期待出来ない旨の説明を受けました。暗澹たる気持ちでした。……(略)

……その後1ヶ月経ち、一部外していた頭蓋骨を元に戻す手術を受け、漸く普通に近い風貌になりました。医学的にあらゆる可能性のある治療をしてもらいました。意識回復に繋がるかもしれない治療も二期に亘って行われましたが効果は有りませんでした。……(略)

私達の記憶の中にある妻は明るく元気な働き者でした。家事の全てをきちんとなし、特に掃除や庭の手入れはよくやっていました。買い物や用足しはいつも自転車で飛び回っていました。海外旅行にも出かけ、マチュピチュやギリシャの田舎等、あまり一般的でない所にも行っていました。図書館の利用や市の施設見学、各種講座への参加にも意欲的でした。

友人にも恵まれ、時々外食や旅行にも出かけていました。医療に関係した職場にいたこともあり、親戚や友人の健康の相談相手として頼りにされていた様です。

また、二人の孫が来るとなると、何日も前から、やれ掃除はどう、料理はどう、布団を干したりと準備に大忙しでした。この春に次男の第3子が生まれると知るや、早速編み物を始めました。心からその誕生を待ちわびていたのです。しかし、編み物は途中で未完のままで終わってしまいました。どんなにか心残りだった事でしょう。

昨年の11月4日の事故によりこれらの生きがいや楽しみ、家族との穏やかな生き活きとした生活の喜びが全て一瞬にして奪われてしまったのです。……何の落ち度もないのに。

目も開けず、寝返りも打てず、ただひたすらに横たわっているだけです。綺麗好きだった妻は自分で風呂に入る事も出来ず、トイレに行く事も、顔を洗う事も出来ません。楽しくお付き合いのあった友人が来ても全く分からない意識不明のままです。……(略)

加害者である〇〇はとても許すことは出来ません。厳しい処罰を強く望みます。また〇〇を雇用していた会社には責任はないのでしょうか。69歳の高齢者に運転をさせていた事はどう考えるのか、他にもいるであろう高齢運転者への安全教育や健康診査は十分なされているのでしょうか。……

(略)

……私達家族は妻の回復を心より願っておりますが、見通しは皆無です。

生活の全てに渡り、誠意を持って取り組んでくれた妻に代わる者はおりません。私達は悲しく苦しく辛い不安の毎日を送っています。……

……わずかな希望の光を求めながら。

意見陳述書とは公判の時に、被害者や家族、遺族の方が事件・事故に遭ったことで、どんな気持ちを感じているか等を裁判官や被告人の前で読み上げるものです。

事件から2年半が経過しましたが、被害者の女性はまだ入院中で意識も回復せず、家族の介護を受けています。

被害者の方の一刻も早い、意識の回復を願っております。

センター支援員 H.S

内閣府【犯罪被害者週間】協賛キャンペーン

犯罪被害者支援フォーラム2016 in にいがた

日時・会場 平成 28 年 11 月 26 日 (土)
新潟市民プラザ (NEXT21) 6階
新潟市中央区西堀通 6-866

第 1 部 講演

演題 未定

講師 大藪 順子氏 フリーフォトジャーナリスト

1999年、自宅で性暴力被害に遭い、アメリカの支援団体に助けられる。アメリカの大学を卒業後アメリカ各地の新聞社で専属フォトジャーナリストとして働き、2002年からフリーに。



第 2 部 コンサート

県警音楽隊 & カラーガード

ファンドレイジング活動の推進

にいがた被害者支援センターではより多くの人たちに被害者支援の輪を広げるためにセンターの財政基盤の確立が必要であることから、県内事業所、関係機関団体等に対しまして積極的な財政支援をお願いしております。また、犯罪被害者支援に関心を持ってもらうために、TVCM、支援センターだより・チラシの配布、ポスターの掲示、市町村広報誌への掲載等様々な広報活動を行っています。

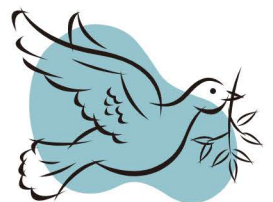
みなさま方からの寄付、賛助会費は被害者の為の直接支援活動、支援員育成の研修活動や広報活動等に、使わせていただいております。

ファンドレイジングを 担当しております渡辺豊です。

にいがた被害者支援センターでは、犯罪や交通事故等の被害に遭われた被害者やそのご家族・ご遺族の方々に寄り添い、相談活動、生活支援、直接支援などきめ細かな被害者支援活動をさせていただいております。

このように被害者の方々の多様なニーズにきめ細かく対応する活動を実践できるのは、被害者の方々が再び平穏な生活が取り戻せるようになることを願う皆様方のご支援・ご協力があったることと強く感じております。

微力ではございますが、一人でも多くの方々に当センターの活動を知ってもらい、被害者支援の輪を広げていきたいと考えております。できますれば周囲の方々にも当センターの存在をお伝えいただけますようお願い申し上げます。



協力者御芳名

(平成27年4月1日～平成28年6月30日)
順不同・敬称略

ご協力ありがとうございます。
今後ともご協力お願い申し上げます。

正会員名簿

・団体正会員

新潟県精神科病院協会、(公財)新潟県交通安全協会、新潟県弁護士会、(一社)新潟県医師会、関東信越税理士会新潟県支部連合会、新潟県精神保健福祉協会、新潟県町村会、新潟県市長会、学校法人新潟青陵学園

・個人正会員

藤巻強生、高橋由美子、荻野佳美、大木満子、坂井明都、栗山啓、江花里都、大竹玲子、野上博、甲野勝機、小林ひとみ、遠藤和成、宇田正、中曾根えり子、山後晴雄、藤田正行、小濱恵子、渡辺豊、渡部直子、小島功、志賀里佳、津野恒子、二木宏、青山勝二、落合光雄、貝瀬尚久、島典子、橘玲子、澁谷志保子、運上司子、金子英明、饒村悠子、野澤裕朗、平尾公子、川上耕、瀧澤尚以、太田信子、遠藤修司、高野義雄、眞壁伍郎、稲餅武雄、中嶋久美子、櫻井香子、伊藤末松、星野理香、北山桂子、近藤麻美子、井口善雄、大島照美子、中村協子、長塚康弘、本間サチ子、早福 弘

団体賛助会員

アドリテム司法書士法人、愛クリニック、(有)石倉製麺所、岩淵浩法律事務所、糸魚川ロータリークラブ、(有)浦島、大浦整形外科医院、沖歯科工業(株)、柏崎刈羽地区保護司会、空手道空美会、柏崎地区交通安全協会、関越物流(株)、木田町内会、県央加工協同組合、医療法人社団敬成会、(株)コロナ、(株)グリーンセキュリティサービス、特別養護老人ホーム にいだの里、小林石油(株)、五泉市東蒲原郡医師会、(株)三商、三条市医師会、(有)サンケイ新潟企画、(有)佐渡ビル管理、新発田ガス(株)、自動車安全運転センター新潟県事務所、砂田徹也法律事務所、セコム上信越(株)、(株)全研ビルサービス、(株)ソーゴ、(株)タカード、第一建設工業(株)、(株)たいよう共済新潟支店、谷澤整形外科クリニック、大広運輸(株)、(株)大助、(株)燕タクシー、(株)テクノクラフト、外山産業(株)、(株)トーア、(株)東光クリエート、(株)トスネット上信越、十日町地区交通安全協会、ナミックス(株)、長岡長生ライオンズクラブ、(株)日建重機、(株)日本建機、(株)新潟食品運輸、(株)新潟ふるさと村、新潟県警備業協会、新潟県建設業協会(与板支部)、新潟県警友会連合会、新潟総合警備保障(株)、新潟県司法書士会、新潟県民共済生活協同組合、新潟県指定自動車教習所協会、新潟県自動車練習所、(株)新潟中央自動車学校、新潟県安全運転管理者協会、新潟県解体工事業協会下越支部、新潟県解体工事業協会中越支部、新潟県自動車販売店協会、新潟市医師会、新潟県歯科医師会、新潟県商工会議所連合会、新潟県暴力追放運動推進センター、新潟信用金庫、新潟県遊技業協同組合、新潟県自動車整備振興会、新潟万代ロータリークラブ、ネットヨタ越後(株)、根津歯科医院、羽深産業(有)、(株)萩田換地、(株)VIP、(株)古田組、藤巻町内会、(株)双葉印刷、(株)福田組、(株)北雪酒造、北越警備保障(株)、(株)本町調剤薬局、真心福祉会、マルソー(株)、マルシン食品(株)、松崎歯科医院、(株)三原田組、見附市南蒲原郡医師会、三島病院、コカ・コーライーストジャパン(株)、碧建設(株)、村上市岩船郡医師会、明倫短期大学、やかた歯科医院、(株)大和商会、(株)渡大組、(株)ワールドライン

個人賛助会員

青木和司、青柳芳郎、相澤市郎、青木優一、阿部政志、青木優子、安藤 烈、安藤栄子、相澤いづみ、穴沢 隆、浅田幸子、井伊 務、五十嵐喜一、稲餅三重子、今田芳明、稲田秀樹、五十嵐久、伊藤基子、池田正友、石川伊作、和泉澤貞子、石塚誠一、今井千恵子、市嶋範恵、今城清司、(株)オアシス稲葉摩利子、石原護、板垣 隆、猪股良二、池田賢二、石原 剛、石原 博、歌川亨一、辯護士氏家信彦、遠藤記恵子、江森謙太郎、大島證道、大矢 傑、小野塚利信、小田島美智子、大滝西一郎・尚美、大川 聡、沖野節子、押見清雄、大倉憲吾、音田裕司、大平泰三、大塚智恵子、小幡政行、小熊 力、岡村善一、風間康則、弁護士金子 修、弁護士金子直樹、金子 哲・和子、金子 優、金井くみ子、加地正樹、風間柁由、木村眞悟、岸本正智、鬼島基伸、串田重男、栗山美智子、栗山宣子、栗山英雄・祥子、工藤和雄、久我正作、恵 盛良、小林賢一郎、小山高司、小林澄夫、近藤正明、後藤直樹、辯護士小村 隆、小林澄江、小山晴代、香田一男、小池進吾、小島一則、小嶋謙一、神立秀明、小松紀子、児玉省二、小林一光、坂井秀弥、齋藤謙三、佐藤あずさ、斎藤洋子、佐藤幸示、酒井正昭、佐野 實、佐藤敏子、佐川和夫、佐野稲子、斎藤敏子、佐藤長一郎、弁護士櫻井英喜、嵯峨トシ、佐原萁一、櫻井春夫、澤村陽一、斎藤長一、桜井正二、嶋田啓介、十二勝・幸子、塩谷 洋、弁護士鈴木 俊、杉崎建二、諏佐恭一、鈴木信嘉、菅井正人、須貝恵吉、関 洋一、瀬藤 純、高橋 勝、田下厚子、田辺章雄、田中克幸、高橋節子、田村いづみ、田中 稔、高岡光夫、高橋玲子、武村真理、竹内邦彦、高野雅史・優子、谷 良雄、高橋 勝弁護士、滝本友子、鶴巻信朗、土屋貴司、築井一琢、外立正紀、藤間春夫、中村光春、弁護士中澤泰二郎、中野宏子、中村俊光、永倉 税、中倉一浩、中林昭三、中谷裕介、西山 正、西脇和子、庭野カツ、

二平正司、庭野トシエ、根津明子、野口祐郁、野上信子、野上 正、野澤 修、野村和子、野沢成二、半戸哲夫、半藤千枝子、こども医院はしもと橋本謹也、辯護士長谷川進、長谷川虹兒、灰野 博、廣川 明、廣島 高、平澤敏夫、藤沢直子、藤田善六、福原浩次、藤崎藤作、堀川誠一、本間武志、細野紀雄、本間真一、本田恭子、前山憲三、圓山 巧、真壁重夫、三上剛明、宮崎正夫、皆川和秀、水莖芳英、水野俊一、三原 栄、南 安美、村山和子、森田敏明、森二十男、諸橋義知、森川一章、山田ひろ子、山田俊博、山野芳生、山崎幸雄、山崎幸幸、山際富雄、山岸良男、山田正樹、湯沢靖子、吉田耕二、横田光義、吉野美穂子、吉田 護、渡辺茂子、渡辺逸郎、渡辺雅直、渡部信子、渡部文雄、渡辺幸子、渡邊 毅、匿名者(8名)

新潟県公安委員会・新潟県警察本部賛助会員

・公安委員会・警察本部

新潟県公安委員会、新潟県警察本部長、総務課、警務課、厚生課、会計課、広報広聴課、新潟県警察学校、装備施設課、監察官室、情報管理課、留置管理課、教養課、地域課、生活安全企画課、生活保安課、少年課、サイバー犯罪対策課、通信指令課、鉄道警察隊、刑事総務課、鑑識課、捜査第一課、機動捜査隊、科学捜査研究所、捜査第二課、捜査第三課、組織犯罪対策第一課、組織犯罪対策第二課、外事課、警備第一課、警備第二課、機動隊、交通企画課、交通機動隊、高速道路交通警察隊、交通規制課、交通指導課、情報通信部、運転免許センター

・警察署

胎内署、新発田署、阿賀野署、五泉署、津川署、佐渡東署、佐渡西署、秋葉署、江南署、新潟南署、新潟東署、新潟中央署、新潟西署、西蒲署、燕署、加茂署、三条署、見附署、新潟北署、長岡署、与板署、小千谷署、小出署、南魚沼署、十日町署、柏崎署、上越署、妙高署、糸魚川署

寄附者

有坂康治、司法書士赤塚裕介、イオンリテール(株)、飯塚真理子、池 淳一、弁護士伊藤秀夫、井口睦子、岩崎治光、岩淵 浩、伊藤文博、市嶋邦夫、植木ひろ子、運上司子、辯護士氏家信彦、(有)魚沼ロード・サービス、弁護士遠藤智子、遠藤和成、江口教官を送る会一同、押見清雄、落合光雄、小幡政行、大湊弘幸、風間正平、川上 耕、金子一郎、籠島隼介、北山桂子、熊林 薫、刑事部鑑識課、栗山 啓、(株)コーシン新潟営業所、司法書士小出行雄、弁護士小林 彰、国際ロータリー第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター、甲野勝機、齋藤直義、佐々木昌敏、佐藤直美、三条警察署、佐藤敏彦、サントリービバレッジサービス(株)新潟支店、十二勝・幸子、鈴木重吉、関谷八郎、高野・星野法律事務所弁護士高野毅、弁護士高野義雄、ガイドードリンコ(株)中部第一営業部新潟オフィス、武井慎次、大道寺雅夫、高岡光夫、田伏 智、高橋忠男、大洋電機(有)、燕警友会、津川警察署、鶴巻信朗、トナン輸送(株)、遠山知行、中村光春、弁護士中澤泰二郎、長岡ライオンズクラブ、中嶋孝司、中沢玲子、内藤シゲ、中曾根豊、二木 宏、新潟県民共済生活協同組合、(一社)新潟県安全運転管理者協会、野口祐郁、辯護士長谷川進、樋口洋子、ヴィームスタジアム(株)、藤田美沙、弁護士藤巻元雄、(有)藤田豊商店、古川尚史、星野理香、本多保司、本間岳也、丸山昌治、弁護士松山悦子、弁護士正木 宏、松田駿也、コカ・コーライーストジャパン(株)新潟支社、三国フーズ(株)新潟営業所、FVイーストジャパン(株)、三浦實男、ミツワ興業(株)、碧建設(株)、村山美知子、村上交通安全事業主会、村松基宏・緑、山本千鶴、山崎トシエ、山崎堅輔、山吉彩子、(株)横井組、和田武次、匿名者(13名)

※誤字・脱字がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

イオン「幸せのイエローレシートキャンペーン」でのご協力をお願い

イオンリテール(株)様では地域社会への貢献の一環として地域で活動するボランティア団体等に助成する「幸せのイエローレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、レシートを店内各所に設置された投函コーナーの当センターボックスに投函していただきますと、レシート金額1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から当センターへ寄贈されます。当センターでは、これを支援活動等の事務用品などに有効活用させていただきますので、皆様ご協力をお願いいたします



イオン新潟南ショッピングセンター投函ボックス(食品売り場前に設置)

被害者支援自動販売機の設置によるご協力のお願い

にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、貴企業、貴団体の社会貢献活動の一環として清涼飲料の寄付金付自動販売機の新規設置、または切り替えをさせていただける事業所・団体を募集しています。設置・切り替えをさせていただくことにより、コカコーライーストジャパン(株)グループ様、サントリービバレッジサービス(株)様、及びダイドードリンコ(株)様、(株)コーシン様、(株)和光ベンディング様より、自動販売機の売り上げの一部を当センターに寄付されるシステムとなっています。ぜひご支援・ご協力をお願いいたします。(ご連絡はセンター事務局 025-281-2131)

平成28年4月末現在設置ご協力企業・団体様は下記のとおりです。

●コカコーライーストジャパン(株)グループ自販機設置個所

◆民間事業所等

田中産業(株)、田中運輸機工(株)、(株)草間組、(株)新潟文化自動車学校、土田商店、(有)オービット、(有)大伸通信、(有)瀬戸川工業所、特定医療法人青山信愛会新潟信愛病院、(有)上越ケミカル、涌井建設工業(株)、(有)ランドマーク資材センター、(有)光和建設工業、(株)共同建設資材センター、県ロードサービス(株)、ガレージプロセス、新潟大学前駐車場、(株)新潟中央自動車学校、丸克建設(株)、新潟県司法書士会、酒道楽工藤、(株)まつき、萬代電業(株)、(株)リクシルトータルサービス新潟営業所、(株)アルパ建設、(有)ランニング、(株)ハママサービスオリックスレンタカー新潟駅前営業所、(株)上杉興業、新潟県自動車販売店協会、東日本高速道路(株)新潟支社、新潟ガラスリサイクルセンター(株)三条営業所、松本機工(株)新潟工場、(株)萩田換地、(株)サン・メタル、(株)松崎木工場、サップセキュリティ(株)、水原自動車学校

◆警察関係

県警察本部、運転免許センター(新潟、長岡、上越)、交通機動隊、機動隊、警察学校、小千谷署、三条署、新発田署、村上署、胎内署、新潟北署、小出署、南魚沼署、秋葉署、燕署、五泉署、佐渡西署、佐渡東署、新潟中央署、江南署、新潟西署、西蒲署、新潟東署、長岡署、新潟南署、十日町署、柏崎署、上越署、糸魚川署

●サントリービバレッジサービス(株)自動販売機設置個所

新潟東署、加茂署、五泉署、上越署、見附署、妙高署
胎内署、新潟北署

●ダイドードリンコ(株)自動販売機設置個所

警察学校、加茂署

●(株)コーシン自動販売機設置個所

新潟西署

●(株)和光ベンディング自動販売機設置個所

柏崎署



被害者支援自販機

賛助会員募集・ 寄附金のお願い

当センターの活動は、主に皆様の賛助会費や寄附金に支えられています。皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

年会費 ●個人賛助会員/1,000円 ●団体・法人賛助会員/10,000円
※一口以上何口でもご加入いただけます。

お振込先(郵便振替口座)

- 座名義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター
- 座番号：00530-1-84482

税法上の優遇処置 について

当センターへの賛助会費・寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄付優遇処置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除の対象になります。

支援センターだより 第20号 (平成28年7月)

編集・発行：公益社団法人
にいがた被害者支援センター

事務局：〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-3
新潟ユニソンプラザハート館
TEL・FAX 025-281-2131
<http://www.n-vsc.jp/>